

2013年5月20日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

「SFC あさもぐキャンペーン - 朝ごはんで脳活！」 慶應 SFC 生の“朝活(朝の頭脳と活動の活性化)”に産学連携で挑戦

慶應義塾大学 SFC(湘南藤沢キャンパス)玉村雅敏研究会の学生を中心に、SFC 研究所フードデザイン・ラボ研究スタッフや、企業・団体の支援のもとに、朝食で朝の頭脳と活動を活性化させる「SFC あさもぐキャンペーン - 朝ごはんで脳活！」に挑戦します。

1. 目的と概要

大学生の生活において、朝食を取らずに活動することが多くなっています。朝食は、脳の働きを活性化させることや、集中力が高まることなど、学生にとって重要な役割を持っています。しかし、うまく朝の時間がとれなかったり、準備が面倒であったり、(SFC 生は)通学時間が長かったりするため、朝食を軽視することが多くなっています。そこで、「SFC あさもぐキャンペーン - 朝ごはんで脳活! (朝食で朝の頭脳と活動を活性化させるキャンペーン)」という実験を行います。

この実験では、Twitter 等のソーシャルメディアを生活の一部として使い、身近な情報コミュニティをもち、相互に影響を及ぼしている SFC 生を対象に、「朝活(朝の頭脳と活動の活性化)」を想定した朝食を提供します。そして、その朝食を巡る経験を Twitter 等で身近なコミュニティにて共有し、相互に影響し合うことで、朝食への意識を高めることや、バランス良い食生活を意識すること、朝の活動を活性化させることを目指します。

具体的には、このキャンペーンの趣旨を理解し、参加協力を得られる SFC 生と、朝のセグメントを想定した商品開発を行う企業を募ります。今回は配布可能な既製品として、朝活を想定した朝食として開発されたパン「朝 BRAIN シリーズ・頭脳パン(提供:伊藤製パン)」や、慶應義塾大学生協で販売されている飲料や食品等を組み合わせ、実験に関する調査票や情報発信に関わる QR コード等を添付して提供します。参加者には、ソーシャルメディアを通じて身近なコミュニティで朝活に関する情報を発信してもらい、ソーシャルメディア上への情報拡散傾向と発信内容についての追跡調査やアンケート調査等を行います。本調査の結果は、参加者個人が特定できない形式でとりまとめ、SFC 生全体に示唆を与えるよう、SFC 生が多く参照するメルマガ等のメディアへの情報提供を行います。また、商品提供等のご協力を頂いた企業・団体に対しても同様の調査結果を提供し、その結果に対する商品開発者へのヒヤリング等を通じて、大学生の朝食事情や食生活と製品コンセプトとの整合性についての検証を試みます。

2. 実施体制と実施期間

実施: 慶應義塾大学 SFC 玉村雅敏研究会(あさもぐプロジェクト)

協力: 慶應義塾大学生協藤沢店、伊藤製パン(株)、慶應義塾大学 SFC 研究所フードデザイン・ラボ

実施期間: 2013年5月21日~29日 (実施成果を踏まえて継続等を検討)

3. 対象とする学生と実験内容

朝にグループワークを行う学生グループへの朝食提供

SFC では多くの授業で課題に取り組むグループワークが行われています。その多くは、授業の空き時間や授業が少ない夜の時間、または 24 時間キャンパスの特性を活かして夜間残留をして行われています。授業開始前の朝の時間に、朝食を取りながらグループワークを行うことを促すことで、グループワーク機会の増加や活性化などが想定されますが、実際にどのような効果があるか検証するために、朝食を取ることができるグループワーク環境を提供します。

1 限の授業を履修する学生への朝食提供

SFC では 1990 年の創設以来、飲食可としている授業も多くあり、授業中に食事を取ることが行われ、日常的なこととして定着しています。しかし、1 限の授業の履修生には朝食を取らずに通学をして、そのまま履修をする学生も多いことが推測されますが、授業中に朝食を取っている学生はあまりみかけません。1 限の授業にて朝食を配布したらどのような効果があるのか検証します。

朝食や朝活に関して様々な工夫をする学生への朝食提供

希望者に対して、食材となるパンを提供し、翌朝の朝食としてもらい、どのように感じたかなどの情報を発信してもらうことや、行った工夫などを紹介してもらいます。また、大学生協にて商品(ドリンク等)と取り替えることのできるクーポンを提供し、学生自身に商品を選んでもらい、どういった朝食を取ることが望ましいのか、朝食での工夫や経験はどうかであったのかなどについて、Twitter に発信してもらいます。

本発表資料のお問い合わせ先: 慶應義塾大学 SFC 玉村研究室

TEL:03-4590-0444 FAX:045-330-4343 e-mail: tama-lab@sfc.keio.ac.jp (担当:吉富・沼井)

発信元 慶應義塾大学湘南藤沢研究支援センター

TEL:0466-49-3436 FAX:0466-49-3594 e-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp